

第1回禁裏・公家文化講座第1講

平成29年11月26日
京都学・歴彩館
075-723-4835

京都学・歴彩館は科学研究費補助金・基盤研究(S)「天皇家・公家文庫収蔵資料の高度利用化と日本目録学の進展一知の体系の構造伝来の解明」(研究課題番号:17H06117 研究代表者 東京大学史料編纂所教授田島 公)との合同主催で「第1回禁裏・公家文化講座」を企画しました。その第1講を下記のとおり開催しましたので報告します。

記

■ 日 時 平成29年11月26日(日) 13:30~15:00

■ 会 場 京都府立京都学・歴彩館1階 小ホール

■ 参加者数 20名

■ 内 容 講 演 東京大学史料編纂所 准教授 藤原 重雄 氏

「史料編纂所蔵の14世紀公家日記」

近年、飛躍的に進展している禁裏・公家文庫資料のデジタル画像の公開を背景に、史料編纂所所蔵資料を素材にした講演。日記を一つのモノとして捉え、日記の執筆段階に迫る意欲的な内容。

■ 講座の様子

今回の第1講は研究者を対象にしていた。参加者が若干少なかったのが惜しまれるが、学部生、大学院生など、これから人文科学研究を担っていくであろう若手研究者に参加いただけた。第1講のターゲットはまさにこの階層であり、その意味において、成功裏の内に講座を終えることが出来たと言えるであろう。

講演の様子1



講演の様子2

